

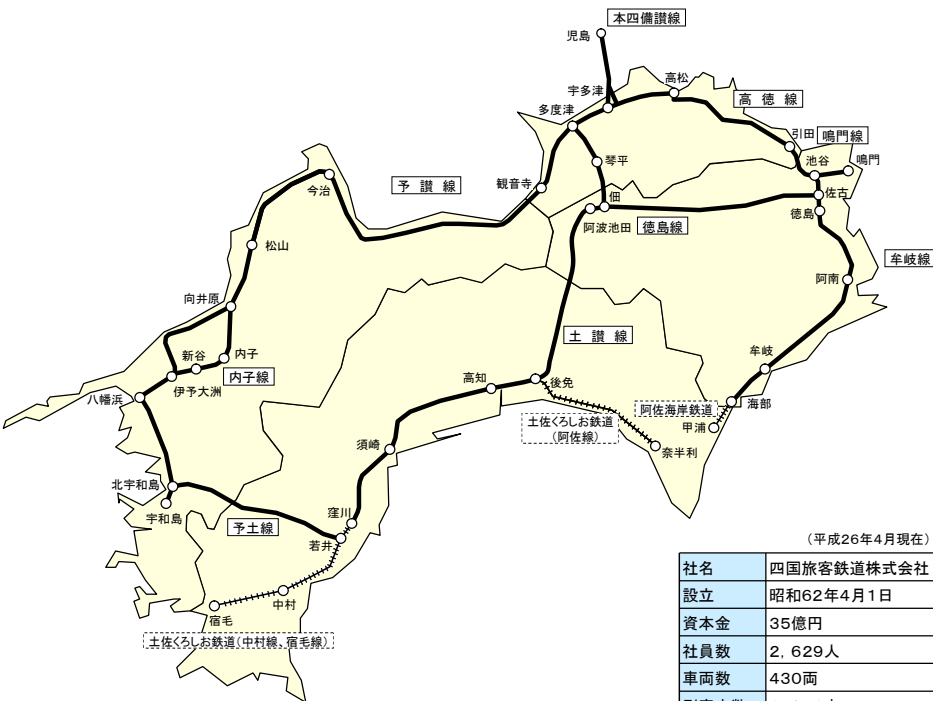
四国旅客鉄道株式会社

1 事業者の概要

- ・ 事業内容 : 旅客鉄道事業、旅行業、その他関連事業
- ・ 運行エリア : 四国4県
- ・ PRポイント : 対本州輸送と四国の都市間輸送を担う
沿線には多くの観光資源がある

2 路線の状況

J R 四国路線図



(平成26年4月現在)

社名	四国旅客鉄道株式会社
設立	昭和62年4月1日
資本金	35億円
社員数	2,629人
車両数	430両
列車本数	1,041本
営業キロ	855.2km
駅数	259駅(内臨時駅2駅)
株主	鉄道建設・運輸施設整備支援機構(100%)

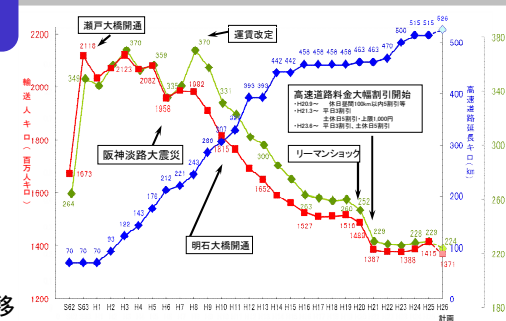
3 地域の公共交通が抱えている課題

- 鉄道利用者の減少
 - ・ 高速道路が整備・延伸される中で速達性の面で競争力が低下
 - ・ 車社会の中でネットワークの利便性が相対的に低下
 - ・ 全国に先駆けて進む人口減少、高齢化
 - ・ 高速道路料金割引制度により移動コストの面で競争力が低下

4 事業者が抱えている課題

- 鉄道利用者減による運輸収入の減少
⇒ 鉄道事業者の自助努力だけでは
鉄道ネットワークの維持が困難

(グラフ) 鉄道輸送人キロ、運輸収入及び高速道路延伸の推移



5 課題を解決するために必要な取組

- 四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会が
平成23年に「四国の鉄道活性化への提言」で示した方策

鉄道ネットワークの維持

- ・ 国や自治体のご協力による、施設の安全確保、利便性の向上、地元と連携した利用促進

鉄道の抜本的高速化

- ・ 具体的な検討を推進し、四国内の機運を醸成する

⇒ 課題を解決するためには、中長期的な視点での取り組みが必要

四国旅客鉄道株式会社

6 課題を解決するために行っている取組のPR

【中期的な取り組み】

国や自治体のご協力による安全の確保と利便性の向上

- ⇒ホームのかさ上げで段差が解消し、
バリアフリー化された新型車両が運行可能となった
- ⇒高架橋の耐震化や老朽化した施設の改良を行い、
災害に強い施設の構築や構造物の長寿命化につながった

駅周辺における公共施設の整備



(窪川駅)

- ・四万十町が駅の東西に庁舎を建設
- ・JRは東西の庁舎をつなぐ自由通路を受託施工

(伊予西条駅)

- ・西条市が駅周辺に「四国鉄道文化館」等を整備
- ・JRは車両貸与などで協力

⇒駅周辺に公共施設・観光施設が整備されたことで、コンパクトシティの実現や駅周辺の活性化が期待できる

地元との連携や観光列車の運行



⇒「伊予灘ものがたり」や「予土線3兄弟」を運行し、
地元の盛り上がりにつながった

【長期的な取り組み】

鉄道の抜本的高速化



⇒四国の鉄道高速化検討準備会が、鉄道高速化の基礎調査を実施
⇒四国の鉄道高速化連絡会が発足し、
鉄道高速化の実現に向けた機運の醸成につとめている

⇒鉄道事業者の使命である「安全・安定輸送」を第一に、お客さまに「安心して」「喜んで」「末永く」ご利用いただくとともに、四国とともに歩む企業グループを目指す